

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【公開番号】特開2006-204728(P2006-204728A)

【公開日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【年通号数】公開・登録公報2006-031

【出願番号】特願2005-23479(P2005-23479)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技に伴う演出が表示される表示手段と、

遊技状態を検出する遊技状態検出手段と、

前記遊技状態検出手段によって検出された遊技状態に基づいて抽選を行う抽選手段と、

前記抽選手段の抽選結果に応じて複数の装飾図柄列を前記表示手段にて変動表示させる変動表示制御手段と、を備え、

前記表示手段にて変動表示が行われた結果、各装飾図柄列にて停止表示された装飾図柄が特定の図柄組み合わせとなって現れたとき、遊技者に有利な有利遊技状態が発生する遊技機であって、

前記複数の装飾図柄列が前記表示手段にて変動表示されたとき、それら装飾図柄列の全てが停止表示されるのに先立って、前記有利遊技状態の発生する期待度が高いことを前記表示手段にて予告表示する予告表示演出手段を有し、

前記予告表示演出手段は、

前記複数の装飾図柄列が変動表示されてからの第一時点にて特定キャラクタが前記表示手段に現れているとき、前記特定キャラクタの動きに段階的な変化が付与されるステップ演出を順次行うとともに、該ステップ演出が行われた回数によって前記有利遊技状態の発生する期待度の高さを前記表示手段にて予告表示するステップ予告演出手段、及び

前記複数の装飾図柄列が変動表示されてからの前記第一時点よりも後の第二時点にて特定キャラクタが前記表示手段に現れているとき、前記特定キャラクタの動きに対し、前記ステップ予告演出手段によって付与される変化とは異なる変化が付与される特定の演出画像を表示することによって、前記有利遊技状態の発生する期待度が高いことを前記表示手段にて予告表示する特定予告演出手段

を有することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記ステップ予告演出手段は、前記表示手段にて変動表示されている前記複数の装飾図柄列のうちの一部のみが特定の図柄組み合わせにて停止表示されるのに先立って、前記ステップ演出を順次行うものである

請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記特定予告演出手段は、前記複数の装飾図柄列のうちの一部のみが特定の図柄組み合
わせにて停止表示されるのに先立って、前記ステップ演出を順次行うものである

請求項 1 または 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項 1 に記載の遊技機は、遊技に伴う演出が表示される表示手段と、遊技状態を検出
する遊技状態検出手段と、前記遊技状態検出手段によって検出された遊技状態に基づいて
抽選を行う抽選手段と、前記抽選手段の抽選結果に応じて複数の装飾図柄列を前記表示手
段にて変動表示させる変動表示制御手段と、を備え、前記表示手段にて変動表示が行われ
た結果、各装飾図柄列にて停止表示された装飾図柄が特定の図柄組み合わせとなって現れ
たとき、遊技者に有利な有利遊技状態が発生する遊技機であって、前記複数の装飾図柄列
が前記表示手段にて変動表示されたとき、それら装飾図柄列の全てが停止表示されるのに
先立って、前記有利遊技状態の発生する期待度が高いことを前記表示手段にて予告表示す
る予告表示演出手段を有し、前記予告表示演出手段は、前記複数の装飾図柄列が変動表示
されてからの第一時点にて特定キャラクタが前記表示手段に現れているとき、前記特定キ
ャラクタの動きに段階的な変化が付与されるステップ演出を順次行うとともに、該ステッ
プ演出が行われた回数によって前記有利遊技状態の発生する期待度の高さを前記表示手段
にて予告表示するステップ予告演出手段、及び前記複数の装飾図柄列が変動表示されてか
らの前記第一時点よりも後の第二時点にて特定キャラクタが前記表示手段に現れていると
き、前記特定キャラクタの動きに対し、前記ステップ予告演出手段によって付与される変
化とは異なる変化が付与される特定の演出画像を表示することによって、前記有利遊技状
態の発生する期待度が高いことを前記表示手段にて予告表示する特定予告演出手段を有す
ることを要旨とするものである。

請求項 2 に記載の遊技機は、請求項 1 に記載の遊技機において、前記ステップ予告演出
手段は、前記表示手段にて変動表示されている前記複数の装飾図柄列のうちの一部のみが
特定の図柄組み合わせにて停止表示されるのに先立って、前記ステップ演出を順次行うも
のであることを要旨とするものである。

請求項 3 に記載の遊技機は、請求項 1 または 2 に記載の遊技機において、前記特定予告
演出手段は、前記複数の装飾図柄列のうちの一部のみが特定の図柄組み合わせにて停止表
示されるのに先立って、前記ステップ演出を順次行うものであることを要旨とするもので
ある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段 1：「遊技に伴う演出が表示される表示手段と、遊技状態を検出する遊技状態検出
手段と、複数の画像を予め順序付けられた複数のステップに関連付けて記憶したステップ
画像記憶手段と、前記複数のステップのうち、最初のステップからどのステップまでを演
出対象とするのかを、複数の演出パターンとして識別可能に記憶した演出パターン記憶手
段と、前記遊技状態検出手段によって検出された遊技状態に基づいて抽選を行う抽選手段
と、該抽選手段の抽選結果が所定の結果である場合、遊技者に有利な有利遊技状態を発生
させる有利遊技状態発生手段と、前記抽選手段の抽選結果に基づいて演出パターンを決定
する演出パターン決定手段と、該演出パターン決定手段によって演出パターンが決定され
ると、該演出パターンに含まれるステップを前記演出パターン記憶手段から読み出すととも

に、該ステップに関連付けられた前記画像を前記ステップ画像記憶手段から読み出し、該画像を前記表示手段にステップ順で導出するステップ演出表示制御手段とを具備し、前記ステップ画像記憶手段に記憶された前記複数の画像は、いずれも所定のキャラクタの動作を含み、前記ステップの導出順に連続する一連の動作連続画像から構成されている」ことを特徴とする。

ここで、「表示手段」としては、液晶表示装置、E L表示装置、プラズマ表示装置、またはC R T等を例示することができる。また、「遊技状態検出手段」とは、遊技者の操作に応じて変化する遊技状態を検出するものであり、例えば遊技媒体として遊技球を用いた遊技機においては、入賞口や始動口への入球状態を検出するスイッチ、入賞口に入球する遊技球の数をカウントするカウント手段、及び入賞に基づく抽選結果を認識する認識手段を例示することができる。また、「キャラクタ」とは、装飾図柄列及び背景以外の画像を意味しており、小説・漫画・映画・演劇などの登場人物、動物、または植物、もしくはこの遊技機のために作成された仮想上の人物、動物、または植物等を例示することができる。